

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	伊勢市おおぞら児童園			
○保護者評価実施期間	令和8年1月6日	～	令和8年2月6日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	183	(回答者数)	175
○従業者評価実施期間	令和8年1月6日	～	令和8年1月20日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	19
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月10日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種(保育士・言語聴覚士・作業療法士など)が連携し、支援を行っています。	療育前後のカンファレンスや記録の共有を通して、多職種が日常的に情報共有をしています。また、専門職員の専門的視点と、保育士の生活・遊びの視点をすり合わせ、支援方法を検討しています。	定期的なカンファレンスで多職種間で理解を深めたり、外部研修会への参加や事業所内での職員研修を実施したりし、支援の質の向上を図っています。
2	ペアレント・トレーニングを実施したり、その要素を取り入れて保護者支援を行ったりしています。	定期的にペアレント・トレーニングを実施しています。また、分かりやすい資料を作成し、個別でも子どもとの関わり方を伝えています。	引き続き、定期的にペアレント・トレーニング等を実施し、保護者支援をしていきます。
3	保護者同伴での通園のため子どもの家庭での様子を共有しやすく、保護者の困り事等の相談に迅速に対応することができます。	療育後のフィードバックの時間を利用し、子どもの家庭や保育園等での様子の聞き取りや、支援内容の共有を行っています。また、困り事等の相談には迅速に対応するようにしています。	今後も子どもの様子や支援について保護者と共通理解を深めるとともに、困り事等の相談に対して適切な助言と支援を行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎を実施していません。	保護者同伴で通園していただくことにより、すぐその場で、直接保護者と子どもの様子について情報共有できることを重視しています。	送迎は実施していませんが、通園しやすい環境づくりと関係機関との連携により、安心して利用できる体制づくりに努めていきます。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等や地域の子どもの交流がありません。	ほとんどの子どもが地域の保育所等に就園しているため、就園先で地域の子どものと交流していると認識しています。	未就園の子どもの保護者のニーズを把握し、ニーズがあれば保育所等との交流を検討していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果(児童発達支援)

事業所名		伊勢市おおぞら児童園		公表日		令和8年2月27日		利用児童数		183		回収数		175	
		チェック項目	回答割合				ご意見	ご意見を踏まえた対応							
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない									
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	98%	1%	0%	1%	広くて快適。どの部屋も広くて活動ができやすい。各部屋・共有スペース共に十分なスペースがあると思う。遊戯室が広く作られている。ここにしかない大きなトランポリンが特に大好きみたいでありたいです。十分に動きまわって楽しかったです。作業療法で他のお子さんと同様療育になるので集中できず、訓練にならないかなと思います。	遊戯室は各療育共有で使用するため、可能な範囲で使用時間をずらすなど工夫し、作業療法に集中できるようにしていきます。							
	2	職員の配置数は適切だと思いますか。	95%	2%	0%	3%	1対1の配置で手厚く見ていただきありがとうございます。余裕を持って対応していただける人数がいると思う(内部での活動時)。みんな良い先生ばかりです。	全ての療育が1対1の職員配置ではありませんが、適切な人数の配置を行っています。							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすい環境設定になっていますか。また、施設設備はバリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切にされていると思いますか。	98%	1%	0%	1%	段差なく助かる。文字だけでなく絵も活用されている。子どもの目線の高さに合わせた工夫もある。部屋のカードを作って誘導をするなど工夫して頂いていると思う。絵等がわかりやすく表記されている。トイレルームもすごく良い。いつも先生方に丁寧に対応していただいています。もっと保護者と情報共有できる時間が欲しい。	現在実施している保護者交流会や保護者学習会以外にも保護者同士が情報共有ができる機会を増やしていき検討していきます。							
	4	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子どもの活動に合わせた空間になっていると思いますか。	99%	0%	0%	1%	キレイ。全体にきれいで心地よく過ごせる。清掃が行き届いており、清潔な印象である。とてもきれい。								
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	97%	2%	0%	1%	子どもに合わせた支援だと思う。色々相談すると教えていただけて良かった。発達検査の結果で良かった苦手な部分等への支援がとってもらえています。1対1でしっかり子どものことを見て対応していただいている。最後の説明や家でどうしたらいいかなど親身になって考えてくれる。たくさん配慮してもらいつつ、子どもに合った支援をしていてくれると思う。伊勢市内に言語の先生が増えたらうれしい。他のお子さんが気になって興奮するなど逆に特性を刺激している気がする。	子どもの特性を十分に理解し、療育に集中できるように環境的配慮を工夫していきます。							
	6	事業所が公表している支援プログラム(*1)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	97%	1%	0%	2%									
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析して、個別支援計画が作成されていると思いますか。	99%	1%	0%	0%	しっかりカウンセリングがあった。しっかりと話を聞いていただいた上で計画が立案作成されていると思う。								
	8	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインに示される提供すべき「本人支援」「家族支援」「移行支援」の項目から必要な支援内容が設定されていると思いますか。	93%	2%	0%	5%									
	9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	98%	2%	0%	0%	個別性があると思う。								
	10	活動プログラム(*2)が固定化されないように工夫されていると思いますか。	97%	2%	0%	1%	定期的に変化するのうれしい。本人は楽しそうだがわりと同じに見える。定期的に変化しており、本人のペースに合うように工夫されている。毎回、興味のありそうなおもちゃの内容を考えて用意して頂いています。	活動プログラムは定期的に変更し発達段階に応じてねらいや関わり方を変えています。今後は目的や成長がより進むよう工夫していきます。							
保護者への説明等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	74%	11%	5%	10%	保育園で関わりがある。質問の意図がわかりかたがる。	未就園の子どもの保護者のニーズを把握し、ニーズがあれば保育所等との交流を検討していきます。							
	12	おおぞら児童園を利用する際に、施設運営や療育内容及び支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	丁寧だった。責任者より紙面を用いてしっかりと説明があった。とてもわかりやすかった。								
	13	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がありましたか。	98%	1%	0%	1%	しっかり説明をうけた。実施されている。具体的な支援方法の説明もありとても分かりやすい。								
	14	家族等も参加できる研修会(保護者学習会)の開催やペアレント・トレーニング(*3)等、家族に対する支援や情報提供の機会等が作られていますか。	89%	4%	0%	7%	機会があれば行ってみたい。定期的で開催されている。参加していませんが機会はすごくある。参加したことがないのでわからない。平日は厳しいのが現実です。	保護者学習会やペアレント・トレーニングを実施しており、参加できない方へは必要に応じて資料提供や説明をしています。							
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝えあい、こどもの健康や発達の状況について共通理解が出来ていると思いますか。	97%	2%	0%	1%	一緒に成長を喜んでくださり嬉しいです。相談しやすい。いろいろ話を聞いてもらえてアドバイスなどももらえてとても良かった。職員と話をしている時間がしっかりと設けられている。子どもの好きなものを本人の様子からよく判断していただいている。								
	16	定期的に、面談や子育てについて助言等の支援が行われていますか。	96%	2%	0%	2%	親身になってくれて助かる。よく聞いてくれると思う。計画の更新のタイミング等で行われている。タイトなスケジュールのため、相談をする時間があまりない。	療育時は時間に限りがありますので、別日に相談の時間をとらせていただくこともできますので、お申し出ください。							
	17	職員に共感してもらいながら支援が受けられていると思いますか。	99%	0%	0%	1%	療育に来る度に先生から普段の様子や以前に相談した内容について考えてもらい少しでも良くなるようにいろんな案を提案していただけてありがたいです。子どもに合ったやり方で療育の内容も少しずつ変えながら活動に参加しやすくなっていただいています。話をしっかりと聞こうとして下さる姿勢が伝わってくる。よくしてもらっている。								
	18	保護者交流会の開催等により、保護者同士の交流の機会が作られるなどの家族への支援やきょうだいの相談をする等の、きょうだいへの支援がされていますか。	71%	7%	1%	21%	機会があれば行ってみたい。定期的な保護者交流会が行われている。兄弟がいない。	年2回保護者交流会を開催しています。必要に応じてきょうだいの発達などに関する相談のようになっています。							

	19	子どもや家族からの相談や申し入れを受け入れる体制が整備されていて、それを子どもや保護者に周知・説明されていますか。また、相談や申し入れをした際には、迅速で適切に対応されていますか。	95%	1%	0%	4%	先生からも子どもの最近の様子について聞いていただけるので相談しやすいです。子どもに合った対応していただき、よく理解してもらえてありがたいです。一度悩みを相談した時にやさしく聞いていただきありがたかった。子どもだけでなく、母の心にも寄り添っていただけていると感じています。	
	20	子どもの保護者と意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	98%	1%	0%	1%	ふとした相談をする機会がありません。送迎時に先生と少しお話できますが、本人もそばにいますので、なかなか話づらい環境です。「こんな時どうしたらいいだろう、最近こんな感じです。」という内容を話したり相談したりできる環境の配慮をしていただけるとありがたい。せっかく保護者も通所しているので子育てにプラスになるものがさらにあるといいなと思います。	送迎時には相談しづらい状況があることを受け止めております。今後は、療育時とは別日での相談や電話等での相談について分かりやすくお伝えし、安心して相談していただける環境づくりをしていきます。
	21	定期的に通信やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を発信されていますか。	68%	7%	0%	25%	ホームページを見ない。廊下等に掲示されている。	通信や自己評価の結果等をホームページに掲載しています。3月にはおおぞらだより（活動報告）を掲載します。保護者にホームページに掲載していることをさらに周知していきます。
	22	個人情報の取り扱いに十分留意されていると思いますか。	98%	0%	0%	2%		契約時にかわす個人情報使用同意書に基づき、個人情報の取り扱いには注意しています。
非常時等の対応	23	事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応等のマニュアルが策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	78%	6%	1%	15%	訓練等は参加したことがない。廊下等に掲示されている。月に2回の通園なのでよくわからない。	各種マニュアルは廊下に掲示しています。また、発生を想定した訓練は職員のみで行っています。
	24	非常災害の発生に備え、定期的に避難消火訓練等の必要な訓練が行われていますか。	59%	10%	1%	30%	訓練の報告を見る。通い始めて訓練にあたったことがないのでわからない。	毎月避難消火訓練を一部の利用児を対象に実施し、掲示板を通じてお知らせしています。
	25	子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われたうえで支援が行われていると思いますか。	90%	4%	0%	6%		
	26	怪我や事故が発生したとき、速やかな連絡や事故の状況について説明がされていると思いますか。	88%	2%	0%	10%	体調不良すぐに報告していただけた。ケガ、事故がないのでわからない。	保護者同伴で通園していただいているため、怪我や事故が発生した時には、すぐに保護者の方に状況説明をしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通園していますか。	99%	1%	0%	0%	嫌がったことはない。嬉しそうに通っている。とても笑顔で楽しそうに過ごしているので私もうれしい。行くことに不安や抵抗感はないようです。	
	28	子どもは通園を楽しみにしていますか。	98%	2%	0%	0%	めちやくちや楽しみにしています。毎回楽しいといっています。通園をすごく楽しみにしている。保育園よりおおぞら児童園の方が良いといつも言っているほど楽しく通わせてもらっています。トランポリンのお勉強がんばる！とニコニコで楽しくこれている。行く前から「早く先生と遊びたい。今日は〇〇するんだ」と楽しみにしています。毎週楽しみにしています。	
	29	おおぞら児童園の支援に満足していますか。	99%	1%	0%	0%	いつも温かく見守ってくださりありがとうございます。療育として行っている内容の家族への落とし込み方を具体的に知りたいときがある。とても満足している。満足している。ありがとうございます。マンツーマンで子どもの興味やペースに合わせて臨機応変に支援してもらっています。団体での保育や遊びでは難しい細やかな対応で子どもも満足そうです。迅速で丁寧な対応をしていただいています。	療育での関わり方を家庭でも取り入れていただけるよう、具体的に分かりやすくお伝えできるよう努めます。

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	伊勢市おおぞら児童園		公表日	令和 8年 2月 27日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		「児童福祉法に基づく指定通所支援の事業所の人員、設備及び運営に関する基準」以上のスペースがあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		「児童福祉法に基づく指定通所支援の事業所の人員、設備及び運営に関する基準」以上の職員を配置しています。職種により欠員が生じた場合は補充に努めています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		課題に集中しやすい環境設定を行っています。設備等は、バリアフリー化等環境の配慮を適切に行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、清掃や感染症対策として換気、消毒を行い、清潔な環境を作っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもが気持ちを落ち着かせるための個別室があり、必要に応じて使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		担当者会議・療育会議・職員会議を定期的に行い、支援内容についてPDCAサイクルによる業務改善を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年1回保護者等からの事業所評価を実施し、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月の職員会議等で職員から業務改善についての意見を出し合い、その都度改善をしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		昨年度より第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		県や他施設、医療機関等が主催する研修会に参加したり、毎月、園内研修を実施したりし、職員の質の向上を図っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページで公表するとともに園内に掲示しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員で立案会議を行い、児童発達支援計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		令和7年4月より新しいアセスメントツールを使用しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムは、グループのリーダーを中心として職員間で連携して立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		月1回以上療育会議を行い活動プログラムを検討しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		支援実施毎に反省会を行い記録をすることを徹底し、今後の支援に活かしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に、グループの担当職員間で支援の内容や役割分担について確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		グループの担当職員間で子どもの様子や支援方法について反省会を行っています。必要に応じて専門職の意見を取り入れています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		担当職員以外が見ても分かるように支援実施毎に記録を作成し、支援の検証・改善を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等関係機関と連携をして支援を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者の了承のもと保育園・幼稚園・認定こども園等に見学に行ったり来てもらったりするとともにサービス担当者会議等で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所等訪問支援事業を活用したり、必要に応じて保護者の了承のもと、支援内容の提供を行い情報共有と相互理解を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		三重県障害児通園施設等連絡協議会に加入し、情報交換や療育見学をしたり、研修会に参加したりしています。また、サービス担当者会議等で他機関と連携を図っています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			子ども心身発達医療センター等へ訓練の見学に行き助言を受けたり、外部講師の指導を受けたりしています。また、外部研修に参加しています。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	○		伊勢市・志摩市の障害者施策推進協議会こども発達支援部会に参加しています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			未就園の子どもの保護者のニーズを把握し、ニーズがあれば保育所等との交流を検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育後の保護者へのフィードバック等で子どもの発達の状況や課題について話し共通理解を図っています。また、必要に応じて個別面談も実施しています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレント・トレーニングを4グループ実施しました。また、保護者学習会を3回実施しました。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定・支援プログラム・利用者負担金等については契約時に丁寧に説明しています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもや保護者から聞き取りを行い、意向を確認しています。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家族等からの相談に適切に応じ、面談や具体的な支援方法の助言を行っています。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会はないが、年2回保護者交流会を実施しています。また、ペアレント・トレーニングや保護者学習会を通じて保護者同士で交流できる機会を作っています。療育に同行しているきょうだいは、待合室でのきょうだい交流ができています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		園だよりを月1回、保健だよりを年4回発行し、おそろ活動報告だより、専門だよりなどをHPへ掲載しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載されている書類は、鍵付きキャビネットに保管しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域住民を招待する行事は行っていないが、地域の夏祭りのコーナーを担当し当園を紹介しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアル等は策定しています。職員間で発生を想定した訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定するとともに、災害発生に備えて避難消火訓練等を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者に聞き取りを行い記録しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	-	-	食事の提供は行っていません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		毎日安全点検を行い、その都度必要な措置を講じています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を掲示し、療育の待ち時間を利用し家族等へ周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの報告書を作成し、朝礼や職員会議で情報共有を行っています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、虐待を防止するために職員の研修機会を確保しています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束の適正化のための指針を掲示し、職員への研修及び保護者への周知に努めています。		